

(様式3)

自己評価結果票(ほほえみ & やすらぎ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1.理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>理念に代わるものとして5項目からなる独自の琴音憲章があり、その中のひとつに「利用者が地域社会の一員として生活できるような地域との関係づくりを行う」と謳われており、地域密着型サービスとしての理念となっている。</p>	<p>その人らしい暮らしが継続していけるよう支援していきたい。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>全体会議において年一回程度、憲章の共有が図れている。</p>	<p>理念、憲章を共有し実践へとつなげていきたい。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議などを通じて取り組んでいる。</p>	<p>家族との繋がりを大切にし、利用者が安心して生活できる関係づくりができるよう取り組んでいきたい。又、地域の方が気軽に立ち寄れる環境を整え、広く人々に理解してもらえよう取り組んでいきたい。</p>
2.地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		<p>家族、地域の方など、誰でも気軽に入りやすい雰囲気配慮するなど環境を整えていきたい。又、閉鎖的にならないよう声掛けあえる環境を整えていきたい。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>敬老会には、琴音より17名参加されている。又、近隣の方々による大正琴、ちぎり絵、朗読会のボランティアが来所されている。</p>	<p>○</p> <p>地元の人々との交流ができる機会の場を検討していきたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる			認知症についての理解について、地域社会の中で役立つ情報を発信できる場として取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる			自己評価作成に皆で取り組み、今後活かしていけるようにしていきたい。評価結果を踏まえ一年間の目標作りに役立てていきたい。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議のメンバーとしては、家族、ボランティア(地域住民代表)稲美町役場(健康福祉課)日の出福祉会法人理事の参加により、状況報告を中心に評価への取り組みをしている。		利用者の生活振りが見えるような状況報告をしていきたい。いろんな意見、話し合いをしながら、介護の質の向上に繋げていきたい。
9	市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	入居の段階で連絡を取り合い、相談をしている。		蜜に連携を図り、利用者、家族の方が安心して利用できるよう、サービスの質の向上に取り組んでいきたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	学ぶ機会を作っていない。		制度についての理解を会議で共通認識できるようにしていきたい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会、ミーティング等で資料を配布し、虐待防止に取り組んでいる。		人権、尊厳に対しての話し合う機会を作る等、防止に努めていきたい。言葉の暴力もあり、特に気をつけていけるようにしたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	行っている。	十分な説明を行い、利用者、家族の不安を取り除けるように努めていきたい。又、解約時は利用者の今後を考え本人にとって一番良い方法を話し合い、理解、納得を図っていけるようにしたい。
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	特に機会を作っていないが、利用者からの不満、苦情に対して、敏速に対応するようにしている。	どんな事でも気軽に言える環境を作っていきたい。
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	面会時には個々に報告する。年4回発行される稲美苑だよりにより利用者様子を近況報告を行っている。又月一回金銭出納帳、領収書を送付する際には、生活状況、身体状況を報告している。	利用者の日々の暮らしぶりが分かるように報告をしていきたい。又、健康状態について、連絡、報告すべきことはその都度連絡していく。金銭管理については、毎月金銭出納帳、領収書を添付し報告している。
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	家族からの意見、不満、苦情は面会の際聞き取り、つどの対応と職員への徹底を行っている。	どんな事でも気軽に言える環境を作っていきたい。
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	定期的な会議などで意見を聞くようにしている。	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	怪我や病気で状態に変化があるとき、特別な行事の時など、必要に応じて職員の勤務調整を行っている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	職員間のユニット替えは行っているが、少人数に抑え、利用者に影響がないようにしている。		利用者へのダメージを最小限に抑え、利用者の不安に繋がらないようにしていきたい。
5. 人材の育成と支援				
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	外部研修には今年度は行われていないが、内部での勉強会が月一回の会議内で行われている。稲美苑との合同勉強会に一部の職員の参加が行われている。		法人内外の研修参加の機会を進めていきたい。
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	二市二町のグループホーム協会に参加しており、グループホームにおける課題について話し合われている。		交流、勉強会を通じて、相互の関係作り、介護の質の向上に繋げていきたい。
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	十分に組み合わせていない(職員不足で職員の厳しい勤務状況が続いている)		職員間の共通認識を深め、1人で抱え込まないようお互い話し合いができる環境作りに取り組んでいきたい。
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	十分に組み合わせていない。		お互いに切磋琢磨し、個々の能力が発揮でき、各自が向上心をたかめられる様に取り組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>はっきりと自分の意見を言える利用者は少ないが、何度か本人に会い、話をしたり、実際に施設に足を運び少しでも馴染んで頂くことで安心感を持ってもらい、本人の気持ちを察するようにしている。</p>	<p>今迄の生活歴から、本人が抱えている不安、希望などを十分に聞き、安心して生活できるよう蜜に話しかけ、本人との信頼関係を構築していきたい。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>担当のケアマネージャーや利用していた事業所のスタッフを通して、又直接話しを伺うことで、家族の気持ちを理解するように努力している。</p>	<p>家族がいつでも気軽に出入りが出来る環境、又、いつでも、話ができる機会を作り、気持ちを分かり合える関係作りをしていき、利用者、家族の安心に繋げ信頼関係を築いていきたい。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>努めている。</p>	<p>相談の内容を理解し、必要な支援、他のサービス利用も含めた対応に努めたい。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>管理者は入居時が最も大事との意識があり、職員が事前に訪問したり、短期間のサービスから開始する等馴染める工夫が行われている。</p>	<p>本人が安心して場に入れる雰囲気、環境を作りをしていきたい。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>調理方など調理の場面で教えてもらう事が多い。又、行儀作法やことわざ等日常生活の中で学ぶ事もあり支えあう関係を築いている。</p>	<p>利用する人、される人ではなく、共に教え教えられるたり、喜怒哀楽を共にしながら、支え合える関係を築いていき普通の暮らしをめだしていきたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	家族と都度、相談を行い、一緒に利用者を支えている。		家族は利用者の一歩の理解者であり、職員と共に利用者を支えていける関係作りを築いていきたい。
29	利用者との家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	これまでの利用者との家族の関係を大切にし、年に何回か家族と一緒に参加してもらえよう行事を計画したり、一緒に時間を過ごせるようにしている。		離れていても家族との繋がり、お互いの思いを双方に伝える代弁者となり、より良い関係が築いていけるようにしていきたい。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	誕生日外出や買い物、その他の機会に昔の馴染みの場所に訪れたり、馴染みの人に会える機会を作っている。		これまでの交友関係を知り、馴染みの関係が継続してできるよう努めていきたい。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	少々の喧嘩などは見守り孤立しないよう、職員が入り支援している。		お互いが支え合って生きていることの話し合いをしたり、お互いが困った時など助け合えるようにしようとのかけ声で、意識をたかめていけるように日々の生活の中で常に声を掛けていけるように支援したい。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	出来る範囲で行っている。		契約が終了しても、いつでも気軽に相談できる関係作りをしていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりのライフスタイルを見極め対応している。	個々の思いを汲み取り、希望や意向に添えるように努めていきたい。
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	生活環境がなるべく変わらないよう、情報を把握し対応している。	生活環境の変化は利用者にとって、心身に大きく影響される要因となる為、これまでの情報の把握に努めている。
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	毎日の状態、記録、申し送りで職員全員が把握している。	日々の暮らしが、本人にとって充実した生活が送れるよう、持っている能力など、総合的に把握するように努めていきたい。
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	ケアのありかたについては、話し合いをしているが、介護計画書は作成されていない。	利用者がより良く暮らせる為の、介護計画書を作成していきたい。
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	利用者に変化があった時は家族と話し合いをしているが、介護計画書は作成されていない。	今後、介護計画書を作成していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は記録しており、情報を共有しているが介護計画書は作成されていない。		日々の暮らしのケアの実践、結果、気づきを踏まえ介護計画の見直しに活かしていきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	出来るだけ要望に応じ、柔軟に支援している。		柔軟に支援をしていきたい。
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ちぎり絵、朗読会などボランティアさんと協力しながら支援している。		必要に応じて協力しながら支援していきたい。
41	他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	今のところ必要性がない。		必要に応じて支援していきたい。
42	地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今のところ必要性がない。		今後は必要に応じて協働していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望を大切にした往診などの支援をしている。		利用者、家族、ケアマネージャーとの相談
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	精神科ドクターには必要に応じ相談できている。		家族の認知症についての理解の説明も含め、早期に治療が受けられるよう支援していきたい。
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	週に一度、看護師の健康チェックを行っており、電話で相談もできている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	医療機関や家族との連携をとるようにしている。		環境の変化による不安の増大、レベルの低下を最小限防いでいけるよう情報交換、相談に努めていきたい。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化、終末期については、全員で話し合い共有している。		利用者、家族、かかりつけ医との話し合いを繰り返し行い、全員で方針を共有し、本人にとってより良い方向での話し合いを重ねていきたい。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	都度、話し合い、対応をしているが医療やスタッフとの支援や方針、共有には取り組めていない。		入居時に出来る事、出来ない事の説明を十分に行い、今後予測できる事については家族に説明、相談をしておく。かかりつけ医との連携を蜜にしていこう。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	十分とはいえない。		関係機関との十分な話し合い、情報交換を行い、環境の変化に本人が不安を感じないよう配慮した対応に努めていきたい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1.その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	個人情報の取り扱いには注意している。一人ひとりの誇り、人格を尊重した取り扱いをしている。		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	個々に合わせた声掛けや、話し方をしよう努めている。		本人の思いや希望が遠慮なく言える環境作りをしていきたい。
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	最大限、個々のペースに合わせて対応している。		その人らしい暮らしができる環境を作っていきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	その人らしく支援している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	普段は盛り付けのみになっているが、手作りなど一緒に調理をするよう努めている。		利用者とスタッフが一緒に、食事作りや片付けができるような環境を作っていきたい。
55	利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	好みを優先し、少しでも楽しくて食べていけるよう努めている。		個々の好みの物を、昼食、おやつなどに、手づくりで楽しめるような環境作りに努めたい。
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの排泄パターンを把握し、自然な排泄ができるよう支援している。		出来るだけ自然な排泄ができるよう工夫し支援していきたい。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員数や時間が制限されてしまっているが、最大限楽しんで入浴できるよう支援している。		入浴した後の気持ち良さ、入浴時でのスタッフとの会話など楽しめるよう配慮していきたい。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	声掛けや運動など昼間、活動的にして夜間良眠できるように努めている。		昼夜逆転にならないよう、日中、身体を動かす、楽しみを作るなど、夜間はぐっすり眠れるよう支援していきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりに合わせ片付けや、掃除、編み物、計算ドリルなど役割、楽しみを持てるよう支援している。		今迄の生活習慣を活かした役割、楽しみが日々の中で活かしていけるよう支援していきたい。


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々にお金の管理を本人がされたり、管理のできない方でも財布を持つようにしている。		買い物など、本人ができる範囲で使えるように支援していきたい。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	出来るだけ対応しているが、スタッフの都合で希望時に外出できないこともあり十分ではない。		日中、目的意識が持てた生活が支援ができるよう支援したい。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	行事を通し年に何回か機会を作っている。		家族との交流機会、外出などいつでも出掛けられる様支援していきたい。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば行っている。		本人が積極的にできる事は、自由に支援していきたい。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも訪問できるようにしている。		誰でも気軽に出入りできる環境作りに努めたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束をしない介護に取り組んでいる。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本的には施錠は行わないが、状況により一時施錠する場合はある。		基本的に施錠はせず開放していく。
67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	連携をとり所在の確認をしている。		個々の生活スタイルを把握し、所在の確認をしながら安全に配慮していきたい。
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状況、状態で危険と思われる物は預かりとしている。		危険を回避することは大切であるが、見守り、説明のできる事は可能である為、状態に応じて取り組んでいきたい。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職員間の連携、声掛け、会議、研修を通し、事故防止に取り組んでいる。		会議などで繰り返し、事故防止についての知識を学べる機会を作りたい。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	研修を随時行っているが、全員参加することは難しい。		急変、事故発生時、初期の対応ができるよう、定期的に勉強会、訓練を行ってきたい。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に非難訓練は行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族に説明、理解を得て、最大限努力している。		起り得る予測できる事は、家族に説明、話し合いをできる関係づくりをしていきたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日の健康チェックや顔色、食欲など、異常があれば、報告、相談を敏速に行っている。		異変に気付いた際は、敏速に対応できるよう、情報を共有し対応していく。
74	服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬一覧表のチェックや会議時の服薬テストで把握するよう努めている。		誤薬、副作用についての理解、確認を徹底していく。
75	便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	一人ひとりに合った便秘対策をしている。		快眠、快便、快食が図れるよう、日中は身体を動かすように支援していきたい。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	一人ひとり、状態に応じた口腔ケアを行っている。		食後は、うがいや義歯洗浄に努めたい。
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりに応じた摂取量や水分量を把握している。又、好みなども尊重している。		摂取量の少ない方の原因や、状態を把握し必要に応じて対応していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルがある。		感染予防についての対応の徹底を図っていきたい。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	マニュアルがある。		衛生管理についての周知徹底を図っていきたい。
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	出入りは自由だが、分かり難い。		入り易いような環境を作る工夫をしていきたい。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングで自由にくつろげるよう工夫できている。		癒される空間、居心地良く過ごせる工夫をしていきたい。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	内庭に囲まれているデイルームはゆったりと過ごせる空間になっている。		ゆったりと過ごせるように居場所の空間を工夫していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にできるだけ馴染みのものを持参くださるようお願いしている。		本人が好んで使われていた物、使い慣れた物を活かして居心地良く安心して過ごせるよう家族とも相談しながらしていきたい。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	利用者の状態に合わせ、又利用者に聞きながら、都度温度調整を行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりに合った椅子やベッドの高さに調整している。		家事全般を通して、本人の出来る事を活かした暮らしが送れる様に支援し、自立に繋げていきたい。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	飾り棚に馴染みの物を入れるなど、部屋を分かり易くする等工夫している。		以前の生活習慣、個々の能力を把握し、できる事を引き出していき働きかけをしていきたい。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	日光浴は少しずつしているが、全員ができるよう努めたい。		四季を楽しんだり、ウッドデッキを歩かれたり、お茶を飲まれたりできるようにしていきたい。

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目 (ほほえみ & やすらぎ)		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> 大いに増えている <input type="radio"/> 少しずつ増えている <input type="radio"/> あまり増えていない <input type="radio"/> 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)